

イチゴの定植始まる（JA鹿本苺部会）

鹿本地域では、促成イチゴが定植時期を迎えています。今年は大雨や台風接近などに見舞われましたが、病害による大きな被害もなく、「ひのしずく」、「紅ほっぺ」、「さがほのか」などの苗が順調に育っています。JA鹿本苺部会では約13ha（74戸）の作付けが予定されています。

鹿本支部では、適正な苗づくりとともに適期定植に力を入れており、9月10日から花芽分化確認を始めています。ほ場の定植準備も計画的に進められ、「紅ほっぺ」から順次順調に定植が進められています。

特に、地域の2/3を占める主力品種となっている「ひのしずく」については、比較的花芽分化が遅い特徴があるため、慎重に定植時期を見極めていきます。近年は、定植時期の前進・安定化を図るため、短期低温暗黒処理に取り組む生産者も見られ始めました。今年は5戸で実施されており、課題の1つとなっている年内収量増加への効果が期待されています。



育苗状況の検討会



花芽分化確認